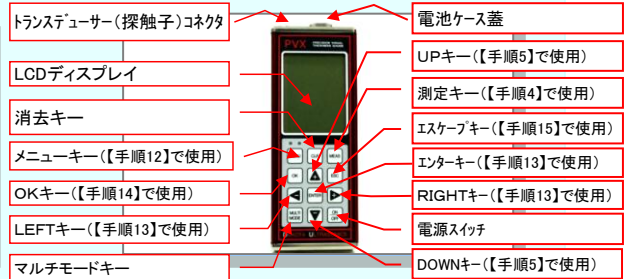
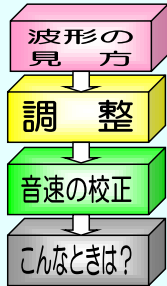


PVX (E-Eモード)

製品案内 超音波厚さ計 簡易取扱説明書

1

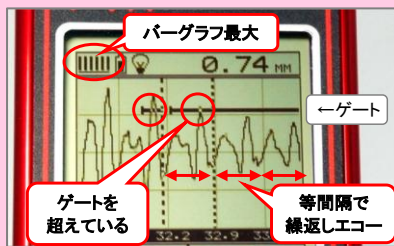
概要



2

波形の見方 (RF波形)

1



測定物に接触媒質(カプラント)を少量塗布し、トランスデューサーを垂直に接触させる。
【OK波形】
「バーグラフが最大」「等間隔で繰り返しエコーが表示」「底面エコーがゲートを超えている」

2



トランスデューサーを斜めに接触させてしまった場合
【NG波形】
「バーグラフが最小」「底面エコーがゲートを超えていない」

3



トランスデューサーを斜めに接触させてしまった場合
【NG波形】
「繰り返しエコーが出ていない」

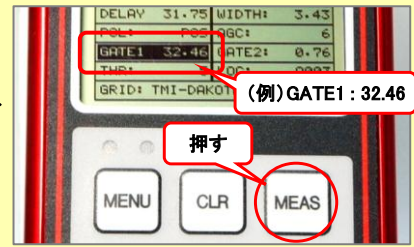
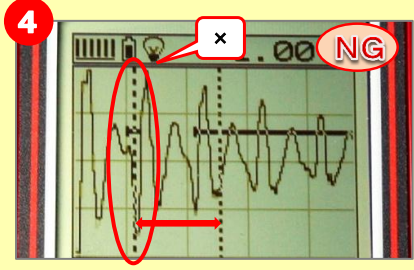
PVX (E-Eモード)

製品案内 超音波厚さ計 簡易取扱説明書

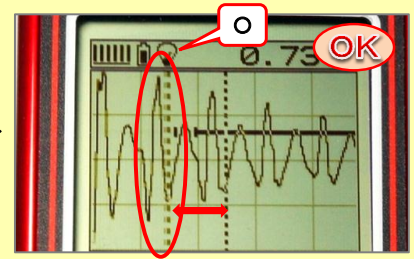
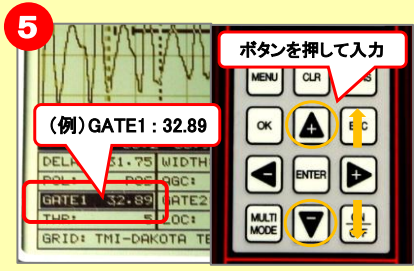
3

調整 (ゲート・AGC・THR)

ゲート1の調整

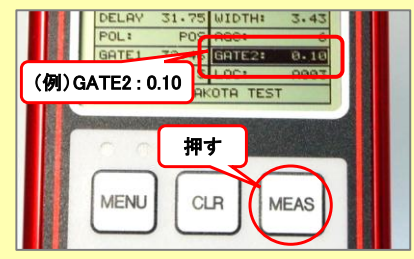
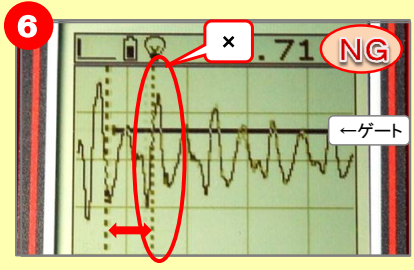


【NG測定】
ゲート1がノイズを測定しているため、縦の波線がエコーの左側に表示されている。
※実際より厚い値が表示されてしまう。
「MEAS」キーを押して【GATE1】を選択する。

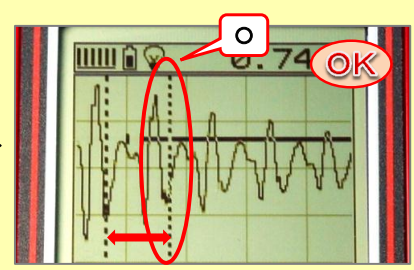
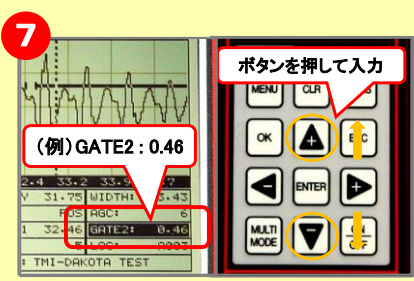


「▲・▼」キーで数値を入力、ゲート1を右に移動する。
【OK測定】
エコーの右側に縦の破線が表示され、正しいエコーを測定している。

ゲート2の調整



【NG測定】
ゲート2がノイズを測定しているため、縦の波線がエコーの左側に表示されている。
※薄い厚みが表示されてしまう
「MEAS」キーを押して【GATE2】を選択する。



「▲・▼」キーで数値を入力、ゲート2を右に移動する。
【OK測定】
エコーの右側に縦の破線が表示され、正しいエコーを測定している。

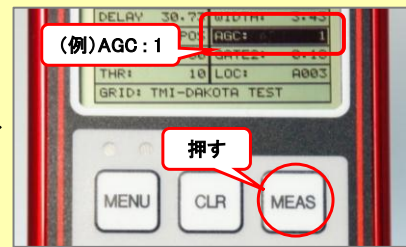
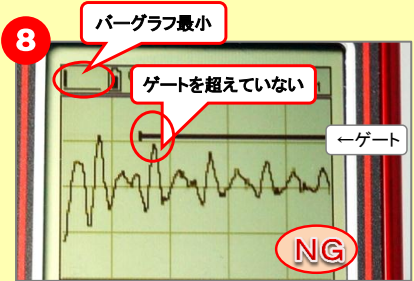
PVX (E-Eモード)

製品案内 超音波厚さ計 簡易取扱説明書

3

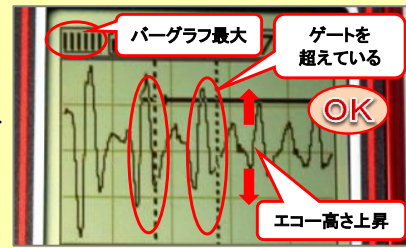
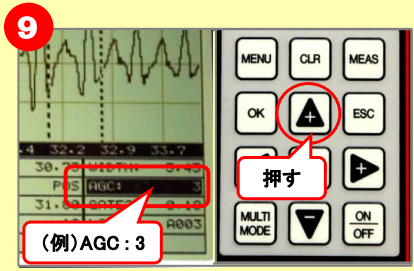
調整 (ゲート・AGC・THR)

AGC(ゲイン)の調整



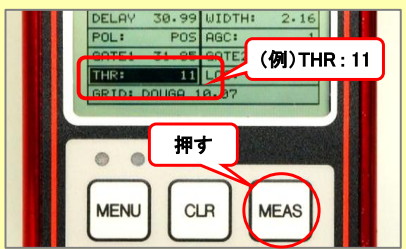
底面エコーがゲートを超えていない場合、ゲインを調整する。または、THR(ゲートの高さ)を調整する。

「MEAS」キーを押して【AGC】を選択する。



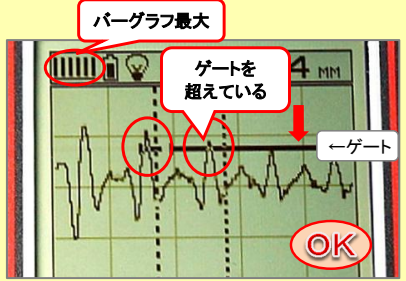
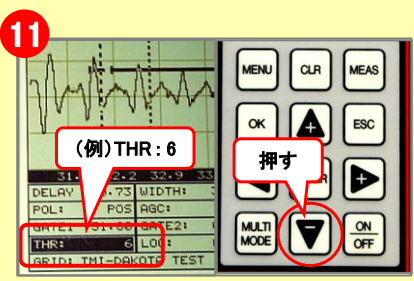
「▲」キーでAGC(ゲイン)の数値を上げる。

THR(ゲートの高さ)の調整



底面エコーがゲートを超えていない場合ゲートの高さ(閾値)を調整する。

「MEAS」キーを押して【THR】を選択する。



「▼」キーでTHR(閾値)の数値を下げる。

PVX (E-Eモード)

製品案内 超音波厚さ計 簡易取扱説明書

4

音速の校正 ※正しいエコーを計測しているにもかかわらず、表示される厚みがおかしい場合は校正を行ってください。

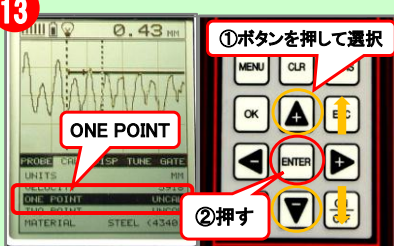
1点校正

12



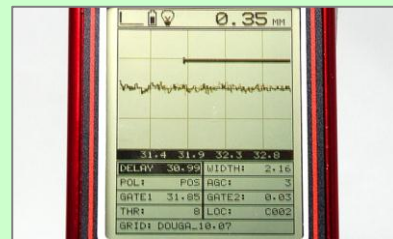
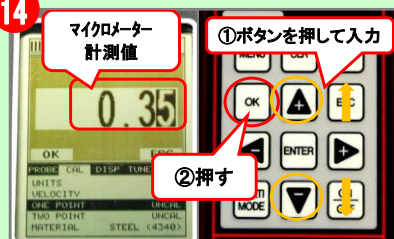
測定物と同じ材質のサンプルの厚さをマイクロメーター等で計測する。
校正を行う場所にトランスデューサーを接触させ、厚みを表示させる。「MENU」キーを何度か押し、【CAL】を選択する。

13



①「▲・▼」キーで「ONE POINT」を選択し、②「ENTER」キーを押す。
「◀▶」キーで桁位置を選択・確認する。

14



①「▲・▼」キーでマイクロメーター等で計測した数値を入力し、②「OK」キーを押して確定する。

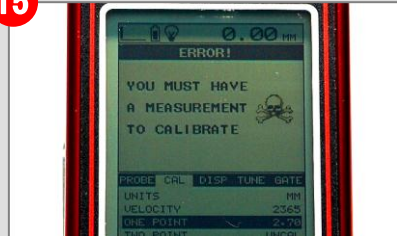
PVX (E-Eモード)

製品案内 超音波厚さ計 簡易取扱説明書

5 こんなときは？

エラー表示が出た場合

15

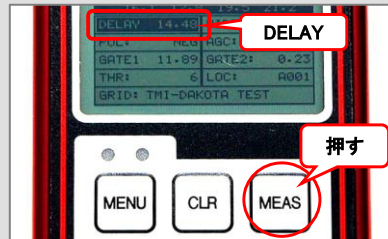
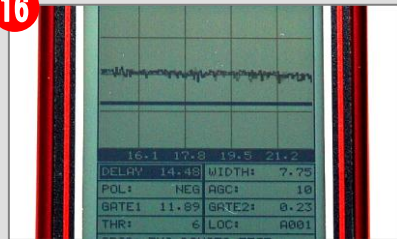


厚みを表示していない状態で、音速の校正を行うと、エラー画面が表示される。

「OK」キーもしくは「ESC」キーを押す。元の画面に戻る。再度校正を行う。

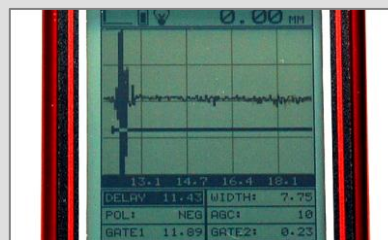
画面上にエコー画像が表示されなくなった場合

16



「MEAS」キーを押して【DELAY】を選択する。

17



①「▲・▼」キーで【DELAY】の値を調整し、②「OK」キーを押して確定する。

※【GATE1】に設定されている値より少し小さい値を入力して下さい。